

時間割コード	G2B46212	開講年度	2026					
授業題目	英語で社会学のテキストを読むゼミ						担当教員	MAWER KIM GISELA
英文授業名	Sociology Text Reading in English							
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限		対象学生	全
講義室	共通教育 2 5 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	大学DP							
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					学生はこの演習を受講することで： 英語の学術論文の読解力を高めることができる グループディスカッションに積極的に参加し、相手の意見を的確に把握した上、議論ができるようになる 社会学の基本概念を英語で簡単に説明できるようになる 社会学関連テーマで英語発表ができるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際共修)							
(4)授業の概要	この演習では英語の社会学入門の教科書を読み、ディスカッションやグループワークが実施される。社会学を専攻とする、あるいは社会学に興味を持っていて、英語の社会学の文献を読みたい学生が対象である。毎回のリーディングのディスカッションは学生2人でレジュメを作成し、ディスカッションをリードしてもらいます。学期末に各学生が学期中に扱った、さらに追求したいテーマの一つを選び、期末発表を実施します。この授業に用いられる言語はできる限り英語ですが、必要に応じて日本語への切り替えもします。							
(5)授業のキーワード	社会学一般							
(6)授業計画	第 1 回目：オリエンテーション 第 2 回目：社会学の誕生 第 3 回目：「社会的」な視野で社会という現象を見ること Part I 第 4 回目：「社会的」な視野で社会という現象を見ること Part II 第 5 回目：ライフコース Part I 第 6 回目：ライフコース Part II 第 7 回目：ジェンダーとセクシュアリティー Part I 第 8 回目：ジェンダーとセクシュアリティー Part II 第 9 回目：労働と雇用 Part I 第10回目：労働と雇用 Part II 第11回目：相互行為と日常生活 Part I 第12回目：相互行為と日常生活 Part II 第13回目：発表の準備 第14回目：期末発表 第15回目：期末発表 第16回目：まとめ・授業アンケート							
(7)成績評価の方法	レジュメ作成とディスカッションのリーダーシップ（担当しているテキストに関するディスカッションを主導する役割）（40%） ディスカッションやグループワークへの参加（30%） 期末発表（30%）							
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。							
(9)事前事後学習の内容	毎回のリーディングを読むことは基本です。なお、レジュメ作成と期末発表のための準備する時間が必要です。予め、期末発表のテーマと内容について、担当教員と相談してください。							
(10)履修上の注意	この授業は可能な限り英語で実施されます。必要に応じて、日本語も使うことがあります。受講者数や英語レベルに応じて、シラバスで掲載されている内容を調整し、授業内容を合わせる必要な場合があります。							
(11)質問、相談への対応	質問や相談はEメール、アポイントメント、授業後に教室で対応します。							
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するためには12回以上の出席が必要です。							
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	欠席した回に相応しい補充措置を設けます。担当教員と相談してください。							

【教科書】	指定しません。
【参考書】	指定しません。